事業概要

（市区町村等の日本語教育の取組への支援・

「日本語教育の参照枠」に基づく「生活Can do」を用いた

「生活」に関する日本語教育プログラムの提供を目的とした取組）

※赤字は注意点、青字は記載例です。提出の際は赤字・青字を削除の上、黒字にて提出ください。

※様式１－３についても別途提出すること。

１　応募者情報

（１）応募者団体情報

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 |  |

２　「日本語教育の参照枠」に基づく「生活Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムの提供を目的とした取組の詳細

|  |
| --- |
| （１）実施（または連携して実施）する事業者及び実施体制 |
| ①名称：②実施体制（図表等を活用して、「生活Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムの実施者の実施体制を詳細に記載してください。） |

|  |
| --- |
| ≪「生活」に関する教育プログラムの開発・編成メンバー≫ |
|  | 交渉状況 | 氏名 | 所属 | 職名 | 役割 |
| １ |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |  |
| ６ |  |  |  |  |  |
| ７ |  |  |  |  |  |
| ８ |  |  |  |  |  |
| ９ |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |
| 未承諾等、決定していない者が過半数の場合、今後の依頼・決定に向けた計画： |

|  |
| --- |
| （２）日本語教育プログラムの名称 |
|  |
| （３）日本語教育プログラムの目的 |
| ①目的②対象 |
| （４）年次ごとの日本語教育プログラムに関する開発・編成・試行等の内容（「当該年度」列は、今年度に当たる年度に、○を付けてください） |
| 当該年度 | 年度 | 実施内容 |
| ○ | 令和５年度 | 　各事業年度末に、文化庁に提出する成果物を記載する。（例：開発・編成・試行を行ったプログラム概要（骨子案）提出） |
|  | 令和６年度 | 　各事業年度末に、文化庁に提出する成果物を記載する。（例：開発・編成・試行を行ったプログラム概要（骨子）提出） |
|  | 令和７年度（最終年度） | 　各事業年度末に、文化庁に提出する成果物を記載する。（例：開発・編成・試行を行ったプログラム概要（提出）） |
| （５）開発する日本語教育プログラムの内容【あくまで想定で構わない】 |
| ①　内容（開発する日本語教育プログラムの全体像が分かるように記載してください）※５つの言語活動を含めて記載②　開発する総コース期間③　開発するコースカリキュラムの総学習時間数（５つの言語活動全てを含む時間数）

|  |  |
| --- | --- |
| 「日本語教育の参照枠」の到達レベル | 想定する学習時間数（５つの言語活動の総計） |
| Ａ１ | 時間単位時間 |
| Ａ２ | 時間単位時間 |
| Ｂ１ | 時間単位時間 |
| その他（Ｂ２以上） | 時間単位時間 |
| 合計 | 時間単位時間 |

（１単位時間：　　　　　分）④　当該日本語教育プログラムにおいて展開される学習活動の概要・どのような学習活動を想定しているか記載（教室活動の形式、使用教材の他、行動中心アプローチや生活Can doをどのように学習活動に生かすかを記載。）・形式（対面、オンライン、オンデマンド等のバランスを記載）・生活・文化・社会的情報の扱い方（開発するコースの中でどのような取扱いを想定しているか記載）⑤　関連する内容の有無（　）日本語能力評価（含む場合はどのようなものを想定するか記載）　内容の想定：　（　）人材の育成（含む場合はどのようなものを想定するか記載）　内容の想定：　（　）教材（含む場合はどのようなものを想定するか記載）　　内容の想定：⑥　参照する資料等【必須】日本語教育の参照枠・参照枠活用のための手引き・生活Can do※その他、具体的に記入 |
| （６）令和５年度に行う具体的な取組 |
| （取組①）「生活」に関する日本語教育プログラムに関する調査や計画策定 |
|  |
| （取組②）「生活」に関する日本語教育プログラムの開発・編成・試行 |
| （開発・編成・試行の手順）　 |
| （試行の予定）※令和５年度に行わない場合はいつ実施するかを記載。・時期・試行の対象となる内容・方法を記載 |
| （取組③）「生活」に関する日本語教育プログラムの教材や評価方法の開発・実施 |
|  |
| （取組④）「生活」に関する日本語教育プログラムを開発・編成・試行するための人材育成　（既存の研修の受講と研修の実施の計画）・「生活Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムの提供を目的とした取組の普及 |
| （関わるコーディネーターや日本語教師の研修受講予定）※該当に○をつける（　　）「生活者としての外国人」に対する日本語教師【初任】研修[90単位時間想定]（　　）日本語教師【中堅】に対する研修[40単位時間想定]（　　）地域日本語教育コーディネーター研修[30単位時間想定]（　　）都道府県・市区町村等日本語教育担当者研修（自治体・国際交流協会職員・コーディネーター対象）（　　）その他の研修（団体が実施する研修の開催予定） |
| （取組⑤）「生活」に関する日本語教育プログラムを開発・編成・試行の成果報告 |
|  |
| （取組⑥）その他、「生活」に関する日本語教育プログラムを開発・編成・試行に関連する取組 |
|  |

３　評価と検証方法

|  |
| --- |
| １．令和５年度の計画の評価と検証方法 |
| 【令和５年度の目標】※「生活Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムの提供を目的とした取組について設定 |
| 【令和５年度の目標達成に向けた指標（定量評価・定性評価を含む。）】【指標１：　　評価目標】〇目標値　　　　（前年　　　　）【指標２：　　評価目標】〇目標値　　　　（前年　　　　）【検証方法】【その他】 |